

■ 説明会の記録

4. 豊小学区

日時：平成 27 年 12 月 8 日（火）19：00～

出席：50 名（子どもを除く）



（説明会の様子）

■『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画(案)の説明会 質問・回答一覧(豊小学区)

主な質問・意見		回答
1. 基本計画全般について		
1	あくまでもこれは案ということか。議会も通っていないのか。もう既定路線ということではないのか。	<p>今回の説明で実施が決定する訳ではない。教育環境を整えていく責任は市にあることから、この統廃合を進めていく上でベストだと考えられる市の考え方を、まとめたいと考えている。そのため、この説明会后、皆さんの意見を踏まえ、事務局内部で再検討したのち、パブリックコメントを行い、基本計画としてとりまとめたい。</p> <p>なお、この計画（案）をまとめていく中では、適正配置審議会でも検討・協議してもらったが、その節目、節目ごとに議会に報告している。</p> <p>平成 28 年以降からは、今回示した枠組みの中で説明会を開催しながら、話し合いを続けていきたい。</p>
2	コンサルタントの方はどういう立場でここに来ているのか。何かを参考にしてこの資料を作ったのか。	<p>基本的には我々はこの基本計画を準備するにあたっては、他の自治体の事例やいろいろな統廃合に関係する文献や国の指針などがあるので、詳しいことを専門家に聞かなければならない。そういうことで委託した。</p>
3	具体的に何年後に統廃合するというような案はあるのか。	<p>平成 28 年以降から、今回示した枠組みの中で説明会を開催しながら、地域の皆さんのご意見を聞きながら進めていこうと考えているが、具体的な統廃合の年度は学校ごとには定めていない。</p> <p>複式学級の発生する学校を優先的という視点はあるが、課題はそれだけではないため、スタートラインは全校一斉と考えている。熟度が異なってくる場合があるので、3 校の場合は話し合いの進捗状況によって、調整しながら進めていきたいと考えている。</p>
4	本来は複式が発生する小学校の問題だったのではないのか。複式発生する小学校の問題に取り組みず全体の話にするのは勇み足だ。	<p>その通りである。だからこそ、今度は明確にやらなければならないと考えている。そのため、一生懸命進めていきたい。</p> <p>平成 28 年以降からは、今回示した枠組みの中で説明会を開催しながら、なお、複式学級が発生する学校については重点的に早急に統廃合を考えていきたいと考えている。</p>
5	（仮称）富士見ヶ丘小学校が	（仮称）富士見ヶ丘小学校が開校する時期が良いのかどう

	開校すると、隣接の学校も当然関係する。3年後に学校ができるのに何の案もないのか。	かは、関係する皆さんと話し合いをしていく中で決まってくると考えている。 どこの小学校についても同じで、このような説明会をやりながら子ども達の教育環境を皆さんで考え、それに向かって事業を進めていく方が良い。それには期限を決めない方が良くいだろうと考えた。
6	地元を優先すべきである。小張小学校にみらい平の子を通わせたら良いのではないか。行政主導で調整していくべきだ。	市においても、学区割については、様々なパターンを考え検討してきた。「①みらい平に小学校を1校建てて小張小を活用する案。」「②みらい平に1校建てて、小張小と谷原小を使う案。」「③みらい平に2校として対応する案」など色々検討した。しかし、既存校を活用する学区割では、既存校では増築が難しい、公平な通学区の設定が難しいなどの問題があり、計画段階では、区画整理事業内を2つの学校で対応することで考えた。 今回こういう形で市の考えを示したわけであり、今後、皆さんと子ども達の学校教育環境をどのようにしていくかを考えていきたい。
7	1学級20人ということなら、複式が発生するような小学校同士で統合でも良かったのではないか。	本市は、児童数の急激な増加と減少によって学校規模のアンバランスが生じており、さらに今後もこの状況が続くと予想されている。通学距離や地域の生活圏等を踏まえると、市全体の義務教育の配置の見直しをする必要があると考えた。
8	「地域文化の継承」とあるが、具体的にどのようなことを考えているのか。	地域の文化継承については、新しく統合した学校においても、それぞれの学校で継承されているもの、地域とのつながり、歴史を引き継ぐということを「地域文化の継承」という言葉でまとめさせていただいた。
9	地域の住民も育った学校には愛着を持っている。親が通った学校に子どもも通わせたいと考える家族もいるはず。そういった部分も考慮して審議してもらいたい。	地域の文化施設や精神的支柱という側面を学校が持つことは十分に認識している。しかし、学校は本来義務教育のための施設であり、子どもの学習の場としての機能を高めていくという部分を第一に考えた。 平成28年以降から、市としての考え方をまとめた計画をもとに説明会を開催していく予定である。地域の皆さんのご意見を聞きながら、行政側と地域や保護者の方々との考え方の違いを明らかにし、それらの格差をできるだけ縮めていけるよう実施に向けて努力していこうと考えている。 これは普通の計画と違って、市が決めたからこれで進めるという類のものではない。その辺りをご理解いただきたい。
10	豊小学校は穏やかな学校で新任の先生の赴任が多い。その良さがなくなってしまう。	統合後も、統合前の学校の良さをなくさないよう、職員の配置や学校環境について可能な限り努力し、取り組んでまいりたい。
11	統廃合による様々な配慮事項は、結局は税金投入という形となろう。今のままであれば、使わなくてよい金を使うことにならないか。	統廃合による財政的なプラス・マイナス面は時間軸の取り方によって様々であり、一概に言うのは難しい。そのため、まずは、子ども達のための教育環境を整えていくことを第一に考えることを一番の重要ポイントとして、市としての考えをまとめた。
2. 説明会や住民意見の反映について		
1	議会やPTAにばかり話をして、地元住民が知らないで広報で始めて知る。順序が逆ではないか。本来は地域住民に話してからやるべきではないか。	計画策定にあたっては、20歳以上の一般市民の中から無作為抽出した方のほか、未就学児・小学生・中学生を持つ保護者全員を対象としたアンケート（計7,671世帯）を平成25年度に実施した。 それらの意見を踏まえ、一般公募、学校関係者、議会の関係者、各PTAの代表の方による審議会において検討し、そ

		<p>れぞれの所属組織において話を持ちかえっていただき、内容をとりまとめ、答申としたものである。</p> <p>したがって、これから皆さんと話し合って進めていくための第一歩と考えていただきたい。</p> <p>今後、皆さんと一緒に考えていければよいと思っている。</p>
2	<p>具体的に、どんな反対意見があった場合は中止するなど、市の考えはあるのか。</p>	<p>統廃合ありきで考えてきたのではない。</p> <p>今後、今回示した枠組みの中で説明会を開催しながら、話し合いを続けていく考えであるが、機運の高まり状況を確認しながら、保護者や地域の方々が統合をやむを得ないとなるところで判断することとなる。</p> <p>反対や賛成の意見もあると思うが、それを解決していかないと前に進めないで、話し合いをしながら進めていくことをご理解いただきたい。</p> <p>これは普通の計画と違って、市が決めたからこれで進めるという類のものではない。その辺りをご理解いただきたい。</p>
3	<p>学校を作るなら地域を見ることが一番。地域に何度も足を運び、地域住民の意見を踏まえて作ってほしい。</p>	<p>教育環境を整えていく責任は市にあることから、この統廃合を進めていく上でベストだと考えられる市の考え方を、まとめたいと考えている。これはあくまでも（案）に過ぎない。</p> <p>これからの話なので、来年度から何度も何度も膝を交えて話し合って作っていきたい。</p> <p>学校というのは地区の中心であり「おらが学校」となり、地域の文化施設や精神的支柱という側面を学校が持つことは十分に認識している。しかし、学校は本来義務教育のための施設であり、子どもの学習の場としての機能を高めていくという部分を第一に考えていきたい。</p>
4	<p>増加地域は学校が必要で、逆に減少地域は不要となるということであろう。</p> <p>市民が同一目線で話し合いができるような環境づくりをしていただきたい。</p>	<p>今回示した統廃合の案は、市全体の児童数が減少に転じる時点である平成35年までを目途に考えたものである。</p> <p>統廃合の問題は現実的な目線で議論していくこととなるので、俯瞰して物事を判断しにくい問題ではある。</p> <p>できるだけ、長期的な目線で話し合いができるよう、我々も工夫しながら、取り組んでいきたい。</p>
3. スクールバスについて		
1	<p>3km以上の子が多数となると思うが、スクールバスや路線バスの利用について具体的にどうなるのか。</p>	<p>板橋小学校の場合の措置では、歩道等がなく危険な通学路を利用する自転車通学者に対して、特別に運行した経緯がある。その際は3,000円の負担をしてもらっていた。</p> <p>3km以上の児童に対して、スクールバスということを検討することは必要だとは考えている。しかし、統廃合に伴うスクールバスの運行条件等については、現時点では、無料にするのか有料にするのは決まっていない。</p>
2	<p>無料になる場合と有料になる場合とでは何が違うのか。</p>	<p>昨年度まで、みらい平地区の児童について実施していたスクールバスは、市の都合で建設が間に合わずに、やむを得ず既存の小学校に通ってもらうという事情もあったために無料となった。板橋小学校の場合は特別なケースということで有料だった。</p> <p>現段階で間違いなく無料になる、有料になるということについては明言できない。</p>
4. 通学路について		
1	<p>街灯がない通学路もある。通学路について、実情を把握しているか。</p>	<p>統合が決定した場合、次の段階として統合準備委員会が設置される、その中で通学路の安全対策についても話し合い、現地を点検・確認するなどして安全確保に努めていきたい。</p>
2	<p>「歩道のない道路は道路で</p>	<p>歩道整備は必要であるが、ハード整備はすぐに取り掛かる</p>

	はない」と市長も言っている。安全対策ができた後で統廃合するということはできるのか。	のは難しい。歩道の整備をしたくても、なかなか進まないというのが現実である。できるものについては最低限安全確保をしたいと考えている。
3	今でも、危険な通学路は多いが、何十年も掛かるのではないか。子ども達のためと言いながら、大人になってしまう。	歩道整備は絶対に必要だけれども、なかなか進まないというのが現実である。 通学路の安全確保については、できる限り最低限の安全確保はしていきたいと考えている。
4	一部ガードレールを付けたりして所がある。これらは、どういった経緯で付けたのか。	小学校の校長先生やPTAの方から要望があった箇所については一部取り組んでいる。 一番良いのは道路の拡幅によって歩道を生み出すことであるが、工夫の範囲内で取り組んでいるところがある。工夫をしながら子ども達の安全を少しでも守ろうと、皆さんと話し合いながら点検をして整備を進めている。
5	緊急を要するところの歩道整備について、現在進んでいるところはあるのか。	「つくばみらい市歩道整備基本計画」に基づき進めている。緑色に着色したり、ポールを建てたり、歩道だまりのところでは用地買収を進めたり、きちんと年次計画で順調に進めている。いろんな工夫をしながら進めているところである。
5. その他		
1	体操服は学校が変わったらどうなるのか。	体操服については、今の時点では全く決まっていない。 統合が決定した場合、次の段階として統合準備委員会が設置される、その中で体操服についても決めていただこうと考えている。 なお、陽光台小学校の場合、既存の4校に通っていて当面体操着についてはこれまでのものを使うということになった。
2	児童クラブについては、統廃合となると、その分規模の拡大が必要となる。それらにも配慮願いたい。	ご意見として承りたい。 児童クラブも統合にあたっての重要な事項であると考えている。統合検討委員会及び統合準備委員会等において検討する事項としたい。